

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	奥州市文化会館、奥州市文化会館分室	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	芸術文化の普及振興を図り、市民生活の向上に寄与するため。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	大ホール・中ホール・展示室・リハーサル室・会議室2・和室3・練習室3		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市文化会館	141,882	161,970	150,957	140,983	93.4	
奥州市文化会館分室	10,504	10,462	9,642	10,382	107.7		
(計)	152,386	172,432	160,599	151,365	94.3		
〔利用者の増減理由〕							
ホール等での公演入場者とその他施設の一般利用者が、共に年間を通じて堅調に推移したものの。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	125,367,000	0	125,367,000	歳入	使用料		使用料	27,628,500	
	利用料金	27,412,500	0	27,412,500		賃貸料		賃貸料		
	事業収入	6,954,250	0	6,954,250		その他		その他		
	雑収入	8,319,433	0	8,319,433		計(A)	0	計(A)	27,628,500	
	計	168,053,183	0	168,053,183						
	支出	人件費	50,755,319	0	50,755,319	歳出 ※経常的	指定管理料	125,367,000	人件費	13,269,105
		需用費	42,918,988	0	42,918,988		委託料		委託料	90,555,348
		役務費	2,315,799	0	2,315,799		需用費		需用費	
		委託料	59,553,514	0	59,553,514		その他		その他	72,342,070
		使用料・賃借料	7,299,945	0	7,299,945		計(B)	125,367,000	計(B)	176,166,523
租税公課		3,252,912	0	3,252,912	支出(B-A)		125,367,000	支出(B-A)	148,538,023	
その他諸費		2,909,658	0	2,909,658	歳出 ※臨時的		維持修繕費	10,940,400	維持修繕費	
計	169,006,135	0	169,006,135	備品購入費		4,773,600	備品購入費			
計	169,006,135	0	169,006,135	計(C)	15,714,000	計(C)	0			
損益	△ 952,952	0	△ 952,952	支出(B+C-A)	141,081,000	支出(B+C-A)	148,538,023			

職員配置	常勤職員	3人	市の正職員	2人
	臨時・非常勤職員	10人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	28,426,400	1,013,900	27,412,500

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	30.0%	H30年度指定管理者損益	△ 952,952円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	828.2円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕	〔行革効果額〕 23,171,023円			評価	
	・直営時との比較では、経費を抑制できている。(23,171千円、15%の減)	〔行革効果額の積算根拠〕				
			H30	H29		比較
		直営支出額	148,538,023	148,538,023		0
		市支出額	125,367,000	127,473,000		△ 2,106,000
効果額	23,171,023	21,065,023	2,106,000			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 一般芸術鑑賞事業の実施 市民参加型事業の実施 ・その他業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な維持管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者により行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、情報誌、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で確実な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡・対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網・対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	年4回実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート ほか	
		調査結果	施設及び設備、スタッフの対応等に関することについて寄せられた。	
	要望・苦情等	良好とする評価	職員の対応が良好であることを確認した。	
	苦情・改善要望等	特になし		
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識、経験を生かして、多彩な事業を企画、開催しており、多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・奥州市文化会館分室は、身近で多目的に利用できる美術館として市民に親しまれている。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な事業の開催	多種多様な事業を開催し、地域のニーズを的確に捉えている	継続的な事業の開催

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	江刺体育文化会館	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	特定非営利活動法人いわてルネッサンス・アカデミア	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の心身の健全な発達と文化の向上に資するため	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	ホール、会議室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺体育文化会館		41,666	38,993	40,529	41,638	
							3
	(計)	41,666	38,993	40,529	41,638	102.7	
〔利用者の増減理由〕 コンサート、著名人の落語会や演劇など多様なジャンルの事業を開催したことにより、前年度より増加したと思われる。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	27,401,000		27,401,000	使用料		使用料	11,790,068	
	利用料金	1,680,580		1,680,580	賃貸料		賃貸料	56,663	
	事業収入	9,625,400		9,625,400	その他		その他		
	雑収入	308,085		308,085					
	計	39,015,065	0	39,015,065	計(A)	0	計(A)	11,846,731	
	支出	人件費	9,036,339		9,036,339	指定管理料	27,401,000	人件費	13,373,906
		需用費	5,003,958		5,003,958	委託料		委託料	22,245,985
		役務費	1,288,614		1,288,614	需用費		需用費	
		委託料	21,088,502		21,088,502	その他		その他	11,762,900
		使用料・賃借料	1,146,390		1,146,390	計(B)	27,401,000	計(B)	47,382,791
租税公課		877,200		877,200	支出(B-A)	27,401,000	支出(B-A)	35,536,060	
その他諸費		694,813		694,813	維持修繕費	887,760	維持修繕費		
計	39,135,816	0	39,135,816	備品購入費	0	備品購入費			
損益	△ 120,751	0	△ 120,751	計(C)	887,760	計(C)	0		
				支出(B+C-A)	28,288,760	支出(B+C-A)	35,536,060		
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員	1人				
	臨時・非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	2人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	3,340,579	1,659,999	1,680,580						
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		23.1%	H30年度指定管理者損益	△ 120,751円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		658.1円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			8,135,060円	評価	
	・直営時より経費が抑制できている。(8,135千円、23%減)			〔行革効果額の積算根拠〕				5	
					H30	H29	比較		
				直営支出額	35,536,060	35,536,060	0		
				市支出額	27,401,000	24,690,000	2,711,000		
効果額	8,135,060	10,846,060	△ 2,711,000						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 芸術鑑賞事業の企画、実施 市民文化祭の実施 ・その他業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な維持管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者によって行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、新聞、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で確実な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	江刺総合支所の警備業務や江刺警察署との連携が図られている。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	実効性のある計画が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート	
		調査結果	概ね好評であり、継続の希望、今後も期待しているという意見が多数あった。	
	要望・苦情等	良好とする評価 地域のニーズを捉えており、内容が充実している事業を実施している。		
	苦情・改善要望等	老朽化した設備の更新要望が寄せられている。		
				3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	5	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識経験を生かして、多彩な事業を企画、開催して多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・市民参加型事業の実施や市民芸術祭への協力、地元文化団体の育成など、地域の文化拠点として文化振興に大いに貢献している。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	安全で快適な施設運営の継続	必要な修繕等を行い、施設維持に努めた	安全で快適な施設運営の継続

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	前沢ふれあいセンター、俳句の庵	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	前沢商工会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	・地域の文化の向上及び福祉の増進を図るため ・俳句の里づくりを推進し、市内の芸術文化の振興に資するため	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	ホール、研修室2、和室2、リハーサル室、俳句の庵		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価	
	前沢ふれあいセンター	47,377	43,016	45,525	44,295	97.3		3
俳句の庵	803	832	735	742	101.0			
(計)	48,180	43,848	46,260	45,037	97.4			
〔利用者の増減理由〕								
・指定管理者の工夫により各種公演等を数多く手がけ、利用者増に努めているが、ホールの一般利用の回数及び内容等により各年の利用者に増減がある。								

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	50,919,000		50,919,000	歳入	使用料		使用料	1,500,000	
	利用料金	1,991,820		1,991,820		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	5,683,350		5,683,350		その他		その他	3,732,000	
	雑収入	1,563,304		1,563,304						
	計	60,157,474	0	60,157,474		計(A)	0	計(A)	5,232,000	
支出	人件費	19,709,882		19,709,882	歳出 ※経常的	指定管理料	50,919,000	人件費	33,408,900	
	需用費	9,984,239		9,984,239		委託料		委託料	17,940,221	
	役務費	2,028,681		2,028,681		需用費		需用費		
	委託料	21,897,417		21,897,417		その他		その他	12,402,847	
	使用料・賃借料	1,846,056		1,846,056		計(B)	50,919,000	計(B)	63,751,968	
	租税公課	1,884,380		1,884,380		支出(B-A)	50,919,000	支出(B-A)	58,519,968	
	その他諸費	2,806,819		2,806,819		歳出 ※臨時的	維持修繕費	3,661,200	維持修繕費	
	計	60,157,474	0	60,157,474			備品購入費	0	備品購入費	
損益	0	0	0	計(C)	3,661,200	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	54,580,200	支出(B+C-A)	58,519,968			

職員配置	常勤職員	3人	市の正職員	3人
	臨時・非常勤職員	4人	市の臨時・非常勤職員	2人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	8,221,695	6,229,875	1,991,820

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	32.8%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,130.6円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕		7,600,968円	評価
	・前沢劇場の事務局業務を市から移管したことに伴う経費の増があった。 ・上記を除く比較では、直営時より経費が抑制されている。(14,863千円、25%減)		〔行革効果額の積算根拠〕			
		H30	H29	比較		5
	直営支出額	58,519,968	58,519,968		0	
	市支出額	50,919,000	55,941,000		△5,022,000	
効果額	7,600,968	2,578,968		5,022,000		

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 <li style="padding-left: 20px;">一般対象の鑑賞事業の実施 <li style="padding-left: 20px;">市民参加型事業の実施 ・その他業務 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な維持管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者により行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、新聞、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で的確な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認をした。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	実効性のある計画が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート	
		調査結果	概ね好評であり、継続の希望、今後も有意義な事業を期待しているという意見が多数あった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	地域のニーズを捉えており、充実した内容の事業を実施している。	
	苦情・改善要望等	老朽化した設備の更新要望が寄せられている。		
				3

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	5	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識、経験を生かして、多彩な事業を企画、開催しており、多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・市民参加型事業の実施や地域の各種催事の支援、市民活動への貸館事業など、市民の芸術活動の拠点施設として文化振興に大いに貢献している。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	安全で快適な施設運営の継続	必要な修繕等を行い、施設維持に努めた	継続的な施設事業の開催

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	胆沢文化創造センター、胆沢郷土資料館	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人胆沢文化会館自主事業協会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の教育・学術及び文化の振興を図るため	指定管理料の有無	有
施設概要	大ホール、小ホール、和室会議室、研修室2、スタジオルーム	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢文化創造センター	50,196	42,384	56,097	47,647	84.9	
胆沢郷土資料館	878	1,172	1,426	1,133	79.5		
(計)	51,074	43,556	57,523	48,780	84.8		
〔利用者の増減理由〕 ・事業内容等により各年の利用者に増減があるが、概ね4~5万人で安定的に推移している。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	81,495,000		81,495,000	歳入	使用料		使用料	1,440,000	
	利用料金	2,954,642		2,954,642		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	6,239,730		6,239,730		その他		その他	14,217,835	
	雑収入	1,681,008		1,681,008						
	計	92,370,380	0	92,370,380		計(A)	0	計(A)	15,657,835	
	支出	人件費	30,985,066		30,985,066	歳出 ※経常的	指定管理料	81,495,000	人件費	34,314,581
		需用費	19,678,813		19,678,813		委託料		委託料	44,121,459
		役務費	655,359		655,359		需用費		需用費	
		委託料	31,869,044		31,869,044		その他		その他	16,581,150
		使用料・賃借料	2,490,350		2,490,350		計(B)	81,495,000	計(B)	95,017,190
租税公課		1,285,200		1,285,200	支出(B-A)	81,495,000	支出(B-A)	79,359,355		
その他諸費		5,406,548		5,406,548	歳出 ※臨時的	維持修繕費	415,152	維持修繕費	705,000	
						備品購入費	9,018,000	備品購入費		
計	92,370,380	0	92,370,380	計(C)		9,433,152	計(C)	705,000		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	90,928,152	支出(B+C-A)	80,064,355			

職員配置	常勤職員	5人	市の正職員	3人
	臨時・非常勤職員	4人	市の臨時・非常勤職員	2人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	10,441,842	7,487,200	2,954,642

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	33.5%	H30年度指定管理者損益	0円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	----	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	1,670.7円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	----------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕		△ 2,135,645円	評価	
	・胆沢劇場の事務局業務を市から移管したことに伴う経費の増があった。 ・上記を除く比較では、直営時より経費が抑制できている。(6,177千円、8%減)		〔行革効果額の積算根拠〕			3	
				H30	H29		比較
			直営支出額	79,359,355	79,359,355		0
			市支出額	81,495,000	81,095,000		400,000
効果額	△ 2,135,645	△ 1,735,645	△ 400,000				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	・施設運営業務 ・施設管理業務 ・指定管理者企画事業 一般対象の鑑賞事業の実施 市民参加型事業の実施 ・その他業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確な修繕、適正な管理が行われていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者により保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	職員及び専門業者により行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	公立文化施設賠償責任保険へ加入している。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	概ね適正な管理だったと認められる。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報紙、新聞、HP等を活用した広報活動が行われている。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、迅速で確実な対応がなされている。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応が取られている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により確認している。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	実効性のある計画が整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	事業に関するアンケート	
	調査結果	次年度以降の事業の要望を複数寄せられた。		
	良好とする評価	苦情等は特になく、職員の対応は良好であることを確認した。		
	要望・苦情等	苦情・改善要望等	特になし。	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	2	<h1>3</h1>
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、直営時と比較して経費を大幅に抑制できており成果を上げている。 ・指定管理者が有する知識、経験を生かして、多彩な事業を企画、開催しており、多くの市民に鑑賞機会を提供するなど、利用者サービスに努めている。 ・市民参加型事業に積極的に取り組み、幅広い年代層に文化体験の場を提供している。 ・青少年を対象とした講座型の体験事業を展開しており、次世代の育成に寄与している。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な施設事業の開催	多種多様な事業を開催し、地域のニーズを的確に捉えている	継続的な施設事業の開催

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	奥州宇宙遊学館	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人イーハトーブ宇宙実践センター	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	国立天文台より譲渡を受けた旧緯度観測所本館及び旧緯度観測所本館に関する資料等を市民に公開し、もって生涯学習・市民活動及び市民交流の推進を図るため	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	市民創作ルーム、シアター上映室、展示室、セミナー室		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州宇宙遊学館	17,415	18,100	19,389	19,666	101.4	
(計)	17,415	18,100	19,389	19,666	101.4		
〔利用者の増減理由〕 ・国立天文台やJAXA等との連携、展示内容の更新、指定管理者が団体独自の活動として行っている出前事業等により、施設認知度・来館者増につながっている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	16,177,000		16,177,000	歳入	使用料		使用料		
	利用料金	1,345,300		1,345,300		賃貸料		賃貸料		
	自主事業	0	2,213,162	2,213,162		その他		その他		
	雑収入	924,543		924,543		計(A)	0	計(A)	0	
	計	18,446,843	2,213,162	20,660,005						
	支出	人件費	10,955,086		10,955,086	歳出 ※経常的	指定管理料	16,177,000	人件費	
		需用費	2,841,454	1,216,978	4,058,432		委託料		委託料	
		役務費	333,551		333,551		需用費		需用費	
		委託料	1,604,448		1,604,448		その他		その他	
		使用料・賃借料	925,905		925,905		計(B)	16,177,000	計(B)	0
租税公課		706,500		706,500	支出(B-A)	16,177,000	支出(B-A)	0		
その他諸費		1,073,138	52,771	1,125,909	歳出 ※臨時的	維持修繕費		維持修繕費		
計		18,440,082	1,269,749	19,709,831		備品購入費		備品購入費		
				計(C)		0	計(C)	0		
損益	6,761	943,413	950,174	支出(B+C-A)	16,177,000	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員	人					
	臨時・非常勤職員	8人		市の臨時・非常勤職員	人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	1,560,150	214,850	1,345,300							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		59.4%	H30年度指定管理者損益	950,174円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		822.6円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△16,177,000円	評価		
	・開館当初から指定管理しているため直営との比較はできないが、指定管理第1期3年間の平均入場者10,895人と比べ、第2期の5年間は平均16,372人と順調に推移している。 ・指定管理者の努力により、市支出額増以上の効果を上げているものと思われる。			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	0	0	0			
				市支出額	16,177,000	25,841,920	△9,664,920			
効果額	△16,177,000	△25,841,920	9,664,920							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> ・施設運営業務 ・施設管理業務 ・企画事業 ・星空観望会、ワークショップ、講演会等の市民が直接参加する事業 ・施設を運営していくために必要な人材を養成する事業 ・学校との連携や学生向けのプログラム開発をするための事業 ・その他 	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に点検が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	概ね適正な使用だったと認められる。省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	施設賠償保険へ加入している。	-	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	適切な管理が行われていた。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	条例等に基づき適切に執行され、公平性も確保されていると認められる。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	広報、地元新聞、地元FMを積極的に活用して周知を行っていた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	対応時のトラブルはなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	迅速な対応がなされている。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	多彩な事業を企画・実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	報告書により報告を受けた。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡・対応が迅速に行える体制であることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	マニュアルが整備されている。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	実施している。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価
		調査内容	銀河フェスタ(天文台との共催)に関するアンケート	
		調査結果	市民のほか、県内外からの来場者も多かった。	
	要望・苦情等	良好とする評価	遊学館・国立天文台へのリピーターが多く見られた。	
		苦情・改善要望等	苦情はないが、リピーターが多いことも考慮しながらイベント・展示内容を企画する必要がある。	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・旧緯度観測所本館や天文学に関する専門知識を有するスタッフがいる団体の運営により、施設の特性を活かした事業の展開ができています。 ・国立天文台やJAXAとの連携により、市民ニーズに迅速に応じた事業が実施されている。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な事業の開催	指定管理者企画事業としての科学教育普及活動が発展継続されている。	継続的な事業の開催

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	大鐘公園市民プール	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	永薬品商事株式会社	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の体力向上と健康増進を図る	指定管理料の有無	有
施設概要	50m×8コース、25m×6コース、幼児プール、管理棟	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	大鐘公園市民プール		6,209	6,166	4,977	4,986	
							3
	(計)	6,209	6,166	4,977	4,986	100.2	
〔利用者の増減理由〕 通常は天候（気候）の影響によると思われる増減があるが、前年比は横ばい状態である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	3,646,000	0	3,646,000	歳入	使用料	0	使用料	829,450	
	利用料金	797,490	0	797,490		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	0	0		その他	525	その他	0	
	雑収入	113,370	0	113,370						
	計	4,556,860	0	4,556,860		計(A)	525	計(A)	829,450	
	支出	人件費	1,948,592	0	1,948,592	※経常的 歳出	指定管理料	3,646,000	人件費	888,560
		需用費	2,156,237	0	2,156,237		委託料	0	委託料	5,466,000
		役務費	37,978	0	37,978		需用費	20,925	需用費	0
		委託料	213,840	0	213,840		その他	22,982	その他	63,000
		使用料・賃借料	0	0	0	計(B)	3,689,907	計(B)	6,417,560	
租税公課		0	0	0	支出(B-A)		3,689,382	支出(B-A)	5,588,110	
その他諸費		200,213	0	200,213	※臨時的 歳出	維持修繕費	116,208	維持修繕費	0	
計		4,556,860	0	4,556,860		備品購入費	0	備品購入費	0	
損益	0	0	0	手数料	177,211					
				計(C)	293,419	計(C)	0			
				支出(B+C-A)		3,982,801	支出(B+C-A)	5,588,110		
職員配置	常勤職員			0.1 人	市の正職員			0.1 人		
	臨時・非常勤職員			4 人	市の臨時・非常勤職員			3 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	954,070	156,580	797,490							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出			42.8 %	H30年度指定管理者損益		0 円		評価	
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数			731.2 円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				1,898,728 円	評価
	・本制度の導入により人件費の削減に伴う経費面での効果が大きく現れた。				〔行革効果額の積算根拠〕				4	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	5,588,110	5,588,110	0		
					市支出額	3,689,382	3,646,000	43,382		
効果額	1,898,728	1,942,110	△ 43,382							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	オープニング記念プレゼント、大鐘市民プールまつり、ポイントカード、団体割引、ボールプール他遊具の充実化	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価	
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3	
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○		
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○		
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	水道使用料が計画値を大きく上回っている。	猛暑により加水対応し営業したためであり、やむを得ない対応と認める。		△
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	通常業務として維持管理を行っていることを確認した。	現地確認を行ったが一部適正ではない管理が行われていた。		△
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3	
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	新聞、インターネット等を活用して周知を図ったことを認めた。	○		
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	電話対応のクレームを受けたが、翌日の朝礼で適正対応するよう指示している。	△		
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	同上	△		
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	オープニングイベント、ポイントカード等の企画により利用促進した。	○		
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	開園期間月毎の報告を確認した。	○		
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3	
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	—	—		
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○		
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○		
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○		
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	災害等訓練実施内容を確認した。	○		

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	有	2
	利用者アンケート	調査内容	①年齢、性別及び利用時間に関する事項 ②整理、清掃状況 ③スタッフの対応及び意見	
		調査結果	アンケート記載者なし	
	要望・苦情等	良好とする評価	なし	
		苦情・改善要望等	プール開園状況の電話問い合わせに対応した職員の対応が素っ気なく気分を害した旨の指摘	

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	2	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、施設の設置目的でもある「市民の体力向上と健康増進を図る」に貢献している。 ・利用者アンケート箱を設置するも、アンケート記載者がいないことについては、設置方法、アンケート内容等の検討を要するものと考えられる。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	継続的な自主事業の開催	良好	継続的な自主事業の開催 ※令和元年度から指定管理者が変更となる。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	奥州市ふれあいの丘公園	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般財団法人奥州市文化振興財団	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民にふれあいの場を提供し、スポーツ及び文化の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	体育館、クライミングウォール、パークゴルフ場、多目的運動広場、人工芝ゲレンデほか	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	奥州市総合体育館	100,461	100,319	106,520	114,145	107.2	
多目的運動広場	8,554	8,554	7,482	7,638	102.1		
クライミングウォール	524	522	321	220	68.5		
パークゴルフ場	15,900	15,900	16,426	18,224	110.9		
(計)	125,439	125,295	130,749	140,227	107.2		
〔利用者の増減理由〕 各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	99,942,000	0	99,942,000	歳入	使用料	0	使用料	8,637,740	
	利用料金	12,300,400	0	12,300,400		賃貸料	0	賃貸料	379,200	
	自主事業	0	748,000	748,000		その他	265,807	その他	0	
	雑収入	0	798,723	798,723						
	計	112,242,400	1,546,723	113,789,123		計(A)	265,807	計(A)	9,016,940	
支出	人件費	29,014,000	0	29,014,000	歳出 ※経常的	指定管理料	99,942,000	人件費	13,525,959	
	需用費	42,429,482	257,711	42,687,193		委託料	1,782,000	委託料	79,635,000	
	役務費	712,863	27,189	740,052		需用費	0	需用費	0	
	委託料	44,297,175	0	44,297,175		その他	319,641	その他	34,955,000	
	使用料・賃借料	2,142,269	58,752	2,201,021		計(B)	102,043,641	計(B)	128,115,959	
	租税公課	2,553,997	58,274	2,612,271		支出(B-A)	101,777,834	支出(B-A)	119,099,019	
	その他諸費	30,000	962,774	992,774		歳出 ※臨時的	維持修繕費	1,225,260	維持修繕費	1,199,100
	計	121,179,786	1,364,700	122,544,486			備品購入費	0	備品購入費	0
損益	△ 8,937,386	182,023	△ 8,755,363	計(C)	1,225,260	計(C)	1,199,100			
				支出(B+C-A)	103,003,094	支出(B+C-A)	120,298,119			

職員配置	常勤職員	2人	市の正職員	2人
	臨時・非常勤職員	6人	市の臨時・非常勤職員	0人

利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額
	13,699,130	1,398,730	12,300,400

指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出	23.9%	H30年度指定管理者損益	△ 8,755,363円	評価
-----------	--------------------	-------	--------------	--------------	----

利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数	712.7円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし	3
----------------	------------	--------	------------------	----	---

行革効果	〔指定管理による行革効果〕		〔行革効果額〕		17,321,185円	評価	
	・平成18年度に財団プロパー正規職員1人減に続き、19年度に市からの派遣職員1人を引き上げるなど、本制度の導入により人件費や物件費の削減に伴う経費面での効果が現れた。		〔行革効果額の積算根拠〕			5	
				H30	H29		比較
			直営支出額	119,099,019	119,099,019		0
			市支出額	101,777,834	101,711,098		66,736
効果額	17,321,185	17,387,921	△ 66,736				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		5
自主事業	キッズまつり、パークゴルフ大会、クライミングウォール教室、ラベンダーまつり、ライトトラップ昆虫採集、親子釣り大会、トレルーフェスタ、スポーツ寺子屋、エアロビクスカーニバル、室内雪合戦大会、スポーツ講習（通年）、出張スポーツ指導（通年）	○	追加：大相撲奥州場所、天皇皇后杯全日本バスケットボール選手権大会	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	市広報、施設ホームページ、Zアリーナ情報誌等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し適切な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	有	評価
	利用者アンケート	調査内容	イベント開催にかかるアンケート	
		調査結果	概ね良好	
	要望・苦情等	良好とする評価	・イベントの企画内容に対する満足 ・参加者自身の反省等	
		苦情・改善要望等	特になし	
3				

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	4
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	5	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、評価できる。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、施設の設置目的でもある「体育、スポーツ及び文化の向上」に貢献しており、今後の取り組みにも期待が持てる。 ・利用者へのアンケート調査の結果は、概ね良好であるとともに、利用者からのクレームや意見に対し真摯に対応し、指定管理者として適切な管理運営にあたっていることは評価できる。 ・小規模な施設修繕は、スタッフの作業により行うなど、経費の削減に努めていることは評価できる。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	特になし	良好	特になし

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	江刺愛宕地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	江刺愛宕地区振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、トイレ		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺愛宕地区総合運動場	6,467	4,835	4,887	5,070	103.7	
(計)	6,467	4,835	4,887	5,070	103.7		
〔利用者の増減理由〕 利用者は横ばいである							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0	0	0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	0	0		その他	0	その他	0	
	繰入金	36,378	0	36,378						
	計	36,378	0	36,378		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0	0	0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	34,754	0	34,754		委託料	0	委託料	0
		役務費	1,624	0	1,624		需用費		需用費	0
		委託料	0	0	0		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0	0	0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課		0	0	0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費		0	0	0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計	36,378	0	36,378	原材料費		29,808				
損益	0	0	0	計(C)	29,808	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	29,808	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員			0.1 人	市の正職員			0.1 人		
	臨時・非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度指定管理者損益		0 円		評価	
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし	3	
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・H30は施設修繕等なし。市の歳出は山砂購入費。				〔行革効果額の積算根拠〕				3	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	0	0	0		
市支出額					0	0	0			
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化		○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	奥州市のマニュアルに準じて運用することを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	藤里地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	藤里振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	藤里地区総合運動場	4,030	4,350	6,481	5,280	81.5	
(計)	4,030	4,350	6,481	5,280	81.5		
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・地区の人口減少が考えられる。 ・生活形態の多様化に伴い、地区コミュニティの変化に伴うものと考えられる。 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0	0	0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	0	0		その他	0	その他	0	
	繰入金	312,473	0	312,473						
	計	312,473	0	312,473		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	15,000	0	15,000	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	80,260	0	80,260		委託料	0	委託料	0
		役務費	7,213	0	7,213		需用費		需用費	0
		委託料	210,000	0	210,000		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0	0	0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課		0	0	0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費		0	0	0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計		312,473	0	312,473		原材料費	29,808			
損益		0	0	0	計(C)	29,808	計(C)	0		
		支出(B+C-A)		29,808	支出(B+C-A)	0				
職員配置	常勤職員			0.1 人	市の正職員			0.1 人		
	臨時・非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			4.8 %	H30年度指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・H30は施設修繕等なし。市の歳出は山砂購入費。 				〔行革効果額の積算根拠〕				3	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	0	0	0		
					市支出額	0	0	0		
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化		○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	米里地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	米里振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	米里地区総合運動場	3,402	2,790	3,182	1,843	57.9	
(計)	3,402	2,790	3,182	1,843	57.9		
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区民運動会の雨天中止による減（H30/250名）、地区の人口減少が考えられる。 ・ 生活形態の多様化に伴い、地区コミュニティの変化に伴うものと考えられる。 							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0	0	0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	0	0		その他	6,000	その他	0	
	繰入金	178,834	0	178,834						
	計	178,834	0	178,834		計(A)	6,000	計(A)	0	
	支出	人件費	0	0	0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	48,580	0	48,580		委託料	0	委託料	0
		役務費	100,254	0	100,254		需用費		需用費	0
		委託料	30,000	0	30,000		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0	0	0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課		0	0	0	支出(B-A)	△ 6,000	支出(B-A)	0		
その他諸費		0	0	0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計	178,834	0	178,834	原材料費		45,360				
計				計(C)	45,360	計(C)	0			
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	39,360	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員	0.1 人					
	臨時・非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員	0 人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		0.0 %	H30年度 指定管理者損益	0 円		評価			
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		円	事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕		6,000 円		評価		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・ H30は施設修繕等なし。市の歳出は山砂購入費。 			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	0	0	0			
				市支出額	△ 6,000	0	△ 6,000			
効果額	6,000	0	6,000							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化		○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	梁川地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	梁川振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	梁川地区総合運動場	1,710	1,410	1,410	1,452	103.0	
(計)	1,710	1,410	1,410	1,452	103.0		
〔利用者の増減理由〕 利用者は横ばいである							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0	0	0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	0	0		その他	0	その他	0	
	繰入金	206,723	0	206,723						
	計	206,723	0	206,723		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0	0	0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	102,963	0	102,963		委託料	0	委託料	0
		役務費	4,500	0	4,500		需用費		需用費	0
		委託料	99,260	0	99,260		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0	0	0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課		0	0	0	支出(B-A)	0	支出(B-A)	0		
その他諸費		0	0	0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	410,400	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計	206,723	0	206,723	原材料費		22,356		0		
損益	0	0	0	計(C)	432,756	計(C)	0			
				支出(B+C-A)	432,756	支出(B+C-A)	0			
職員配置	常勤職員			0.1 人	市の正職員			0.1 人		
	臨時・非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・H30の市の歳出は屋外照明ランプ交換及び山砂購入費。				〔行革効果額の積算根拠〕				3	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	0	0	0		
					市支出額	0	0	0		
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化		○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	評価
	利用者アンケート	調査内容		3
		調査結果	※主に地域住民が使用する施設であり、アンケート調査の必要性が低い施設であると判断することから評価は3とする。	
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	3	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	地区民が一体となり、グラウンド整備、草取りのほか、周辺の草刈り、剪定等、環境整備に取り組んでおり、管理状況は良好と認められる。		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	安全で快適な施設運営の継続。	振興会や地域住民の協力による環境整備等が行われている。	安全で快適な施設運営の継続。

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	梁川地区屋根付ゲートボール場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	梁川振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	ゲートボール場、トイレ、照明設備等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	梁川地区屋根付ゲートボール場	120	104	79	79	100.0	
(計)	120	104	79	79	100.0		
〔利用者の増減理由〕 利用者は横ばいである							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料	0	使用料		
	利用料金	1,000	0	1,000		賃貸料	0	賃貸料		
	自主事業	0	0	0		その他	0	その他		
	繰入金	25,501	0	25,501						
	計	26,501	0	26,501		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0	0	0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	23,501	0	23,501		委託料	0	委託料	0
		役務費	3,000	0	3,000		需用費	0	需用費	0
		委託料	0	0	0		その他	26,283	その他	26,283
		使用料・賃借料	0	0	0		計(B)	26,283	計(B)	26,283
租税公課		0	0	0	支出(B-A)	26,283	支出(B-A)	26,283		
その他諸費		0	0	0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計	26,501	0	26,501	計(C)		0	計(C)	0		
損益	0	0	0	支出(B+C-A)	26,283	支出(B+C-A)	26,283			
職員配置	常勤職員	0.1 人		市の正職員	0.1 人					
	臨時・非常勤職員	0 人		市の臨時・非常勤職員	0 人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	0.0 %		H30年度 指定管理者損益	0 円		評価			
利用者一人当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	円		事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			0 円	評価		
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・H30は施設修繕等なし。市の歳出は敷地賃借料。			〔行革効果額の積算根拠〕				3		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	26,283	26,283	0			
				市支出額	26,283	26,283	0			
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化		○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	広瀬地区総合運動場	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	広瀬振興会	公募・非公募の別	非公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	地域住民の健康及び体力の増進を図る。	指定管理料の有無	無
		指定管理料の区分	—
施設概要	運動場、倉庫、トイレ、夜間照明等		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	広瀬地区総合運動場	4,058	3,703	3,750	3,761	100.3	
(計)	4,058	3,703	3,750	3,761	100.3		
〔利用者の増減理由〕 利用者は横ばいである							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	0	0	0	歳入	使用料	0	使用料	0	
	利用料金	0	0	0		賃貸料	0	賃貸料	0	
	繰入金	263,432	0	263,432		その他	0	その他	0	
	雑収入	17,000	0	17,000						
	計	280,432	0	280,432		計(A)	0	計(A)	0	
	支出	人件費	0	0	0	歳出 ※経常的	指定管理料	0	人件費	0
		需用費	134,187	0	134,187		委託料	0	委託料	0
		役務費	6,245	0	6,245		需用費		需用費	0
		委託料	140,000	0	140,000		その他	0	その他	0
		使用料・賃借料	0	0	0		計(B)	0	計(B)	0
租税公課		0	0	0	支出(B-A)		0	支出(B-A)	0	
その他諸費		0	0	0	歳出 ※臨時的	維持修繕費	0	維持修繕費	0	
						備品購入費	0	備品購入費	0	
計	280,432	0	280,432	原材料費		34,776				
損益	0	0	0	計(C)	34,776	計(C)	0			
		支出(B+C-A)		34,776	支出(B+C-A)		0			
職員配置	常勤職員			0.1 人	市の正職員			0.1 人		
	臨時・非常勤職員			0 人	市の臨時・非常勤職員			0 人		
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	0	0	0							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) / 指定管理者事業支出			0.0 %	H30年度指定管理者損益	0 円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料 / 利用者数			円	事業目的に適合しない支出等の有無			なし		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				0 円	評価
	・維持管理はすべて地元が行っており、通常管理にかかる市の経費面での負担はない。 ・H30は施設修繕等なし。市の歳出は山砂購入費。				〔行革効果額の積算根拠〕				3	
						H30	H29	比較		
					直営支出額	0	0	0		
					市支出額	0	0	0		
効果額	0	0	0							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	使用許可に関する業務、維持管理に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業				

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	広場の保全等	維持管理作業を行ったことを確認した。	○	3
	機械・電気設備の保守点検			/	
	清掃業務	清掃美化		○	
	水道光熱費・燃料費の使用			/	
	損害保険の加入			/	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理		○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可の適切な執行、利用者の公平性の確保		○	3
	広報やHPなどPR活動の実施			/	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	利用申請時のトラブルがなかったことを確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情はなかったことを確認した。	○	
	利用者増加策の実施			/	
	施設利用状況の定期報告	年度報告	報告書を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	関係法令を遵守し適正管理に努めることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施			/	
	警備業務の実施（機械警備含む）			/	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	体制が整備されていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、対応マニュアルを確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施			/	

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	江刺中央体育館、江刺西体育館及び江刺カルチャパーク（テニスコート、多目的広場）	施設所在地	江刺地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民のふれあいの場として、スポーツ及び文化の振興を図る。	指定管理料の有無	有
施設概要	江刺中央体育館：アリーナ・トレーニングルームほか 江刺西体育館：アリーナ・ミーティングルームほか 江刺カルチャパーク：テニスコート、多目的広場	指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	江刺中央体育館	91,466	74,465	73,188	77,277	105.6	
江刺西体育館	38,799	38,802	35,065	33,040	94.2		
江刺カルチャパーク多目的広場(H29以前統計なし)				(15,711)			
江刺カルチャパークテニスコート	7,528	10,093	7,827	12,723	162.6		
(計) ※江刺カルチャパークは除く	137,793	123,360	116,080	123,040	106.0		
〔利用者の増減理由〕							
各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ※江刺カルチャパーク多目的広場はH29以前の利用実績がないため、当該施設を除いた比較としている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	42,114,000	0	42,114,000	歳入	使用料	0	使用料	4,904,168	
	利用料金	7,107,240	0	7,107,240		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	18,800	18,800		その他	426,837	その他	0	
	雑収入	844,723	15,600	860,323		計(A)	426,837	計(A)	4,904,168	
	計	50,065,963	34,400	50,100,363						
	支出	人件費	14,021,053	24,000	14,045,053	歳出 ※経常的	指定管理料	42,114,000	人件費	17,379,204
		需用費	18,673,563	1,600	18,675,163		委託料	25,920	委託料	18,061,534
		役務費	1,201,742	8,800	1,210,542		需用費	0	需用費	195,889
		委託料	10,907,124	0	10,907,124		その他	1,492,646	その他	13,537,215
		使用料・賃借料	714,389	0	714,389		計(B)	43,632,566	計(B)	49,173,842
租税公課		2,148,835	0	2,148,835	支出(B-A)	43,205,729	支出(B-A)	44,269,674		
その他諸費		55,350	0	55,350	歳出 ※臨時的	維持修繕費	3,508,455	維持修繕費	2,419,756	
計		47,722,056	34,400	47,756,456		備品購入費	330,480	備品購入費	0	
				計(C)		3,838,935	計(C)	2,419,756		
損益	2,343,907	0	2,343,907	支出(B+C-A)	47,044,664	支出(B+C-A)	46,689,430			
職員配置	常勤職員	4人		市の正職員	2人					
	臨時・非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	6人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	13,603,784	6,496,544	7,107,240							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		29.4%	H30年度指定管理者損益	2,343,907円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		342.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕		1,063,945円		評価		
	・17年度(直営)は専任の正職員を2名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数の減につながった。 ・本制度の導入による人件費や委託料の削減に伴う経費面での効果も大きく現れている。 ・H30から江刺カルチャパークが管理施設を追加しており、7,058千円の指定管理料が増額となっている。			〔行革効果額の積算根拠〕				4		
					H30	H29	比較			
				直営支出額	44,269,674	44,269,674	0			
				市支出額	43,205,729	36,962,665	6,243,064			
効果額	1,063,945	7,307,009	△6,243,064							

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・健康体操（年1回） ・大人のスポーツ教室（年1回） ・コンディショニングピラティス教室（年2回）	○	追加実施：バランスボール・エクササイズ体験教室（2回） 未実施：コンディショニングピラティス教室	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	樹木の剪定、草刈等が行われたことを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	施設パンフレットの配布や、広報おっしゅう等による周知を図ったことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情を受けても当課への事案報告等を行った。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	有	評価
	利用者アンケート	調査内容	自主事業参加者アンケート	
		調査結果	概ね良好	
	要望・苦情等	良好とする評価	・事業内容 ・受講時間 ・講師対応	
		苦情・改善要望等	・開催時間帯の精査 ・開催回数を多くしてほしい	
				3

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	4	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の適切な維持管理に努め、利用者の安全確保を図っている。 ・施設の有効活用と、体力向上のため、自主事業を積極的に展開されることを望む。 ・災害、事故など発生時の対応は、連絡網等を整備し関係機関への連絡体制をとっている点は評価できる。 ・苦情やクレーム等で判断に苦慮する案件が発生した際には、担当課と積極的に協議して対応している。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	アンケートにより要望のあった自主事業の開催	実施可能な自主事業を開催していた	・アンケートにより要望のあった自主事業の運営 ・屋外施設を使用した自主事業の展開

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	胆沢総合体育館、胆沢野球場、胆沢陸上競技場、胆沢プール、胆沢農村広場	施設所在地	胆沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	総体：市民の体育増進及び文化教養の向上を図る。 野球：市民の体力向上と心身の健全な発達に寄与する。 陸上：市民の体力向上及び生涯スポーツの振興に寄与する。 プール：市民の体力向上と健康増進を図る。 農村広場：住民の健康の維持増進及び憩いの場を提供するため。	指定管理料の有無	有
		施設概要	体育館、陸上競技場、野球場、プール、農村広場（テニスコート、相撲場、多目的運動広場）

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	胆沢総合体育館	39,557	35,425	41,400	39,905	96.4	
胆沢陸上競技場	18,479	16,492	14,934	13,876	92.9		
胆沢野球場	17,251	11,970	11,005	12,987	118.0		
胆沢プール	5,159	4,801	4,576	4,360	95.3		
(計)	80,446	68,688	71,915	71,128	98.9		
〔利用者の増減理由〕							
各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ※農はだての集いでの利用者（胆沢総合体育館200人、胆沢野球場10,000人）は除いている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	30,969,000	0	30,969,000	歳入	使用料	0	使用料	1,234,532	
	利用料金	1,887,595	0	1,887,595		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	36,600	36,600		その他	81,102	その他	0	
	雑収入	679,883	0	679,883						
	計	33,536,478	36,600	33,573,078		計(A)	81,102	計(A)	1,234,532	
	支出	人件費	8,508,478	0	8,508,478	歳出 ※経常的	指定管理料	30,969,000	人件費	17,379,204
		需用費	12,124,591	0	12,124,591		委託料		委託料	12,521,226
		役務費	656,449	6,443	662,892		需用費	0	需用費	0
		委託料	8,928,083	0	8,928,083		その他	56,678	その他	35,206,096
		使用料・賃借料	1,245,449	0	1,245,449		計(B)	31,025,678	計(B)	65,106,526
租税公課		1,062,654	0	1,062,654	支出(B-A)		30,944,576	支出(B-A)	63,871,994	
その他諸費		83,334	50,000	133,334	歳出 ※臨時的		維持修繕費	2,824,200	維持修繕費	7,682,650
計		32,609,038	56,443	32,665,481			備品購入費	0	備品購入費	0
損益	927,440	△ 19,843	907,597	委託料	105,710	計(C)	7,682,650			
				計(C)	2,929,910	支出(B+C-A)	71,554,644			
				支出(B+C-A)	33,874,486					
職員配置	常勤職員	2人		市の正職員	2人					
	臨時・非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	2人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	4,802,470	2,914,875	1,887,595							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出	26.1%		H30年度 指定管理者損益	907,597円		評価			
利用者一人当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数	435.4円		事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			32,927,418円	評価		
	・19年度(直営)は専任の正職員を2名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数の減につながった。 ・本制度の導入による人件費や委託料の削減に伴う経費面での効果も大きく現れた。 ・H30年度に指定管理料を胆沢平野土地改良区排水使用料355千円追加している。			〔行革効果額の積算根拠〕				5		
		H30	H29	比較						
	直営支出額	63,871,994	63,871,994	0						
市支出額	30,944,576	30,570,777	373,799							
	効果額	32,927,418	33,301,217	△ 373,799						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・小・中学生野球教室 ・小学生水泳教室 ・小学生球技教室	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	パンフレットを作成し施設内に配置したことを確認した。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	各施設避難訓練を実施したことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価		実施の有無	無	1
	利用者アンケート	調査内容	※隔年実施	
		調査結果		
	要望・苦情等	良好とする評価		
		苦情・改善要望等		

6 総合評価

	評価区分	評価	総合評価
総合評価	1 施設の利用状況	3	3
	2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
	2 経費等の状況 (行革効果)	5	
	3 事業の実施状況	3	
	4 業務の実施状況	3	
	①施設の維持管理	3	
	②サービスの向上	3	
	③危機管理対策	3	
	5 利用者評価	1	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や委託料が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の適切な維持管理に努め、利用者の安全確保を図っている。 ・アンケートは隔年実施ではなく毎年実施とし、利用者アンケートの結果を、施設の有効活用と、市民の体力向上のため、自主事業を積極的に展開されることを望む。 		

7 改善事項等

	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
取り組み・改善案等 (施設所管課)	利用者が望む自主事業の展開	事業計画に掲載した事業の未実施がある	利用者アンケートを実施し、要望を取り入れた自主事業の展開を望む

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	水沢武道館、水沢弓道場	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	水沢武道館：スポーツの振興、市民の健康増進等を図る。 水沢弓道場：スポーツ振興を図り、市民の心身の健全な発達に寄与する。	指定管理料の有無	有
施設概要	武道館：武道室、トレーニングスペース、会議室ほか 弓道場：近的9人立、遠的6人立	指定管理料の区分	指定管理料+利用料金

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢武道館	26,511	22,228	24,800	24,099	97.2	
水沢弓道場	5,948	9,168	3,748	4,881	130.2		
(計)	32,459	31,396	28,548	28,980	101.5		
〔利用者の増減理由〕							
各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	4,960,000	0	4,960,000	歳入	使用料	0	使用料	227,400	
	利用料金	1,580,720	0	1,580,720		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	34,000	34,000		その他	108,978	その他	0	
	雑収入	217,450	0	217,450		計(A)	108,978	計(A)	227,400	
	計	6,758,170	34,000	6,792,170						
	支出	人件費	1,998,997	0	1,998,997	歳出 ※経常的	指定管理料	4,960,000	人件費	888,560
		需用費	1,846,979	5,171	1,852,150		委託料	0	委託料	311,220
		役務費	60,934	9,383	70,317		需用費	0	需用費	0
		委託料	2,371,332	0	2,371,332		その他	922,982	その他	4,051,282
		使用料・賃借料	112,653	0	112,653		計(B)	5,882,982	計(B)	5,251,062
租税公課		213,504	0	213,504	支出(B-A)	5,774,004	支出(B-A)	5,023,662		
その他諸費		0	5,000	5,000	歳出 ※臨時的	維持修繕費	569,160	維持修繕費	0	
計		6,604,399	19,554	6,623,953		備品購入費	0	備品購入費	0	
計(C)	569,160	計(C)	0	計(C)		569,160	計(C)	0		
損益	153,771	14,446	168,217	支出(B+C-A)	6,343,164	支出(B+C-A)	5,023,662			
職員配置	常勤職員	1人		市の正職員	0.1人					
	臨時・非常勤職員	2人		市の臨時・非常勤職員	0人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	2,568,440	987,720	1,580,720							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		30.3%		H30年度指定管理者損益	168,217円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		171.2円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕				〔行革効果額〕				評価	
	・弓道場は本制度の導入により人件費の削減に伴う経費面での効果が大きく現れた。 ・武道館については、体育協会所有であったため運営補助金を交付していたが、平成23年4月1日に市体育協会より寄附されたことにより管理運営費を計上したため補助金以上の負担となった。				△750,342円				2	
	〔行革効果額の積算根拠〕									
			H30	H29	比較					
	直営支出額		5,023,662	5,023,662	0					
市支出額		5,774,004	5,922,162	△148,158						
効果額		△750,342	△898,500	148,158						

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・健康増進教室 ・弓道教室 ・水沢武道館：毎週土曜日に児童生徒無料開放	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	聞き取りにより適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	新聞、ポスター等での情報発信を認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情等はなし	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な管理、及び情報漏洩防止の指導を行っていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	評価 3
		調査内容	施設利用者アンケート	
	調査結果	概ね良好		
	要望・苦情等	良好とする評価	<ul style="list-style-type: none"> ・開館状況 ・館内清掃 ・職員対応 	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の充実 ・利用時間の延長 ・利用申請の簡略化 等 	

6 総合評価

評価区分	評価	総合評価
1 施設の利用状況	3	<h1>3</h1>
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3	
2 経費等の状況 (行革効果)	2	
3 事業の実施状況	3	
4 業務の実施状況	3	
①施設の維持管理	3	
②サービスの向上	3	
③危機管理対策	3	
5 利用者評価	3	
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害、事故など発生時の対応は、連絡網等を整備し関係機関への連絡体制をとっている点は評価できる。 ・施設の有効活用と、心身の健全な発達のため、自主事業を計画的に展開されることを望む。 ・利用者アンケートを行い、ニーズの把握及び、施設管理の更なる向上を目指すことを望む。 	

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	継続的な自主事業の開催	概ね良好	継続的かつ積極的な自主事業の開催

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	水沢体育館、水沢公園体育施設	施設所在地	水沢地域
指定管理者名	一般社団法人奥州市体育協会	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日（4年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	水沢体育館：体育及びスポーツの振興、市民の健康増進等を図る。 水沢公園：市民の体力向上と健康増進を図る。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金
施設概要	水沢体育館、野球場、陸上競技場、テニスコート、相撲場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	水沢体育館	36,492	33,980	30,212	29,992	99.3	
水沢公園野球場	6,252	5,767	5,312	8,617	162.2		
水沢公園陸上競技場	10,273	5,631	8,014	2,910	36.3		
水沢公園テニスコート、相撲場	21,716	19,193	18,176	19,388	106.7		
(計)	74,733	64,571	61,714	60,907	98.7		
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ・屋外施設の天候による増減がある。 ※産業まつりでの利用者（水沢体育館34,000人）は除いている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	19,732,000	0	19,732,000	歳入	使用料	0	使用料	3,589,260	
	利用料金	1,364,805	0	1,364,805		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	36,500	36,500		その他	87,831	その他	0	
	雑収入	479,182	0	479,182						
	計	21,575,987	36,500	21,612,487		計(A)	87,831	計(A)	3,589,260	
	支出	人件費	8,737,771	0	8,737,771	歳出 ※経常的	指定管理料	19,732,000	人件費	11,210,200
		需用費	4,665,332	24,923	4,690,255		委託料	316,440	委託料	9,373,651
		役務費	441,325	5,448	446,773		需用費	0	需用費	0
		委託料	6,053,816	0	6,053,816		その他	0	その他	5,522,921
		使用料・賃借料	868,718	0	868,718		計(B)	20,048,440	計(B)	26,106,772
租税公課		723,713	0	723,713	支出(B-A)	19,960,609	支出(B-A)	22,517,512		
その他諸費		54,000	5,000	59,000	歳出 ※臨時的	維持修繕費	110,333,800	維持修繕費	2,497,588	
						備品購入費	151,200	備品購入費	0	
計	21,544,675	35,371	21,580,046	計(C)		110,485,000	計(C)	2,497,588		
損益	31,312	1,129	32,441	支出(B+C-A)	130,445,609	支出(B+C-A)	25,015,100			
職員配置	常勤職員	3人		市の正職員	0.6人					
	臨時・非常勤職員	1人		市の臨時・非常勤職員	3人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	3,205,635	1,840,830	1,364,805							
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		40.6%	H30年度指定管理者損益	32,441円		評価			
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		324.0円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3			
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			2,556,903円	評価		
	〔行革効果額の積算根拠〕			H30			H29	比較		
	・本制度の導入により人件費の削減に伴う経費面での効果があった。			直営支出額	22,517,512	22,517,512	0	4		
	・H30市歳出の委託料は、全額水沢体育館非常用発電機模擬負荷試験業務			市支出額	19,960,609	19,532,000	428,609			
				効果額	2,556,903	2,985,512	△428,609			

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・こども相撲教室 ・テニス教室	○	追加：スポーツ吹矢教室 未実施：こども相撲教室	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	月毎予定表及びポスターを関連施設で掲示、協会ホームページで情報発信を認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し適切な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	報告書により事業開催したことを確認した。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報の適切な管理、及び情報漏洩防止の指導を行っていることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	報告書により実施を確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	施設利用者アンケート	
	調査結果	概ね良好		
	要望・苦情等	良好とする評価	利用者の性別、年代、施設使用目的、使用頻度、移動方法、スタッフ対応等	
		苦情・改善要望等	<ul style="list-style-type: none"> ・使用手続きの簡略化 ・施設整備要望各種 ・貸出競技用具の充実等 	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	4		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・災害、事故など発生時の対応は、連絡網等を整備し関係機関への連絡体制をとっている点は評価できる。 ・利用者アンケートを行い、ニーズの把握及び、施設管理の更なる向上を目指すことを望む。 ・施設自体は老朽化が進んでいるが、清掃が行き届いていることを評価されたアンケート結果があった。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	継続的な自主事業の開催	概ね良好	継続的かつ積極的な自主事業の開催

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	前沢いきいきスポーツランド	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人前沢いきいきスポーツクラブ	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	市民の体力向上及び生涯スポーツの振興に寄与する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料＋利用料金
施設概要	体育館、野球場、テニスコート、多目的グラウンド、プール、パークゴルフ場		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢B&G海洋センター体育館	24,709	27,959	29,246	41,853	143.1	
前沢B&G海洋センタープール	7,045	6,685	5,598	6,076	108.5		
野球場	6,956	8,585	12,833	6,167	48.1		
テニスコート、多目的グラウンド、トレーニングルーム、パークゴルフ場	23,274	25,713	26,812	37,970	141.6		
(計)	61,984	68,942	74,489	92,066	123.6		
〔利用者の増減理由〕							
<ul style="list-style-type: none"> ・各種大会開催数により各年の利用者に増減がある。 ・屋外施設の天候による増減がある。 ※前沢牛まつりでの利用者（多目的グラウンド45,000人）は除いている。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支				
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)		
					歳入	歳出	歳入	歳出	
収入	指定管理料	23,785,000	0	23,785,000	使用料	0	使用料	1,670,725	
	利用料金	1,615,890	0	1,615,890	賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	1,483,600	1,483,600	その他	151,623	その他	49,040	
	雑収入	57,801	2,935,763	2,993,564					
	計	25,458,691	4,419,363	29,878,054	計(A)	151,623	計(A)	1,719,765	
	支出	人件費	11,862,063	1,006,200	12,868,263	指定管理料	23,785,000	人件費	11,127,411
		需用費	7,523,688	1,161,561	8,685,249	委託料	972,000	委託料	3,739,845
		役務費	687,350	93,960	781,310	需用費	0	需用費	0
		委託料	3,470,577	0	3,470,577	その他	80,469	その他	6,934,887
		使用料・賃借料	431,815	60,800	492,615	計(B)	24,837,469	計(B)	21,802,143
租税公課		1,393,609	17,850	1,411,459	支出(B-A)	24,685,846	支出(B-A)	20,082,378	
その他諸費		352,668	2,078,992	2,431,660	維持修繕費	603,072	維持修繕費	645,370	
計		25,721,770	4,419,363	30,141,133	備品購入費	0	備品購入費	0	
損益	△ 263,079	0	△ 263,079	計(C)	603,072	計(C)	645,370		
職員配置	常勤職員	4人		市の正職員	1人				
	臨時・非常勤職員	3人		市の臨時・非常勤職員	4人				
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額						
	7,584,750	5,968,860	1,615,890						
指定管理者人件費率	人件費(賃金等)/指定管理者事業支出		46.1%	H30年度指定管理者損益	△ 263,079円		評価		
利用者一人当たりの指定管理料	指定管理料/利用者数		258.3円	事業目的に適合しない支出等の有無	なし		3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			△ 4,603,468円	評価	
	・20年度(直営)は専任の正職員を1名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数削減及び人件費の抑制につながった。 ・H30にちびっこ広場の用途廃止に伴い、指定管理料282千円を減額している。			〔行革効果額の積算根拠〕				3	
					H30	H29	比較		
				直営支出額	20,082,378	20,082,378			0
				市支出額	24,685,846	25,105,721			△ 419,875
効果額	△ 4,603,468	△ 5,023,343		419,875					

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		4
自主事業	前沢いきスポCUP、太極拳教室、コンディショニング&ピラティス教室、ノルディックウォーキング教室、スポーツ吹矢教室、シニア健康体操教室、体操教室、一輪車教室、ソフトテニス教室、パークゴルフ教室、アクアウォーキング教室、かなづち水泳教室、前沢いきいき子供教室、夏休み水泳教室、野球交流会等多数展開	○		

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	加入したことを確認した。	○	
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	4
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	機関紙、チラシ、市広報等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	最も自主事業に力を入れている体育館施設の一つである。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練、普通救命講習の受講をしたことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	投書箱の設置	
	調査結果	投書等なし		
	要望・苦情等	良好とする評価	なし	
		苦情・改善要望等	なし	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	5	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	3		
3 事業の実施状況	4		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	4		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の特徴を生かした自主事業の取り組みは、施設の設置目的でもある「健康、体力の増進（向上）」に貢献しており、今後の取り組みにも期待が持てる。 ・各講座のアンケートを行い、自主事業の更なる展開を目指すことを望む。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	利用者アンケートの実施による利用者評価、ニーズの把握	実施したが投書がない状況	利用者のニーズ把握などを目的としたアンケートなど、内容や方法を検討

平成30年度指定管理者評価調書

施設担当課	協働まちづくり部生涯学習スポーツ課
-------	-------------------

施設名称	前沢グリーンアリーナ、前沢スポーツセンター	施設所在地	前沢地域
指定管理者名	特定非営利活動法人前沢いきいきスポーツクラブ	公募・非公募の別	公募
指定期間	平成29年4月1日～平成31年3月31日（2年間）	新規・継続の別	継続
施設設置目的	グリーン：活動を多様に行う機会を幅広く提供し、市民の福祉の向上に資する。 スポセン：地域住民の健康及び体力の増進に寄与する。	指定管理料の有無	有
		指定管理料の区分	指定管理料+利用料金
施設概要	体育館、テニスコート、グラウンドほか		

1 施設の利用状況

利用状況	施設名	H27利用実績(人)	H28利用実績(人)	H29利用実績(人)	H30利用実績(人)	前年対比(%)	評価
	前沢グリーンアリーナ	17,002	17,839	18,604	18,820	101.2	
前沢スポーツセンター	8,772	7,729	7,273	7,846	107.9		
(計)	25,774	25,568	25,877	26,666	103.0		
〔利用者の増減理由〕 ・各種大会開催数により各年の利用者に増減があるが、前年比は横ばい状態である。 ・屋外施設の天候による増減がある。							

2 経費等の状況

事業収支 (単位：円)	H30年度指定管理者収支				市の収支					
	項目	公の施設分	自主事業分	計	H30年度決算額		市直営決算(17年度)			
収入	指定管理料	5,840,000	0	5,840,000	歳入	使用料	0	使用料	1,549,615	
	利用料金	1,440,900	0	1,440,900		賃貸料	0	賃貸料	0	
	自主事業	0	66,600	66,600		その他	1,301	その他	0	
	雑収入	0	24,000	24,000						
	計	7,280,900	90,600	7,371,500		計(A)	1,301	計(A)	1,549,615	
	支出	人件費	3,864,677	0	3,864,677	歳出 ※経常的	指定管理料	5,840,000	人件費	5,121,920
		需用費	1,892,177	19,000	1,911,177		委託料	0	委託料	516,694
		役務費	252,068	1,842	253,910		需用費	0	需用費	0
		委託料	904,283	0	904,283		その他	57,974	その他	4,075,716
		使用料・賃借料	45,144	0	45,144		計(B)	5,897,974	計(B)	9,714,330
租税公課		148,000	0	148,000	支出(B-A)		5,896,673	支出(B-A)	8,164,715	
その他諸費		0	69,758	69,758	歳出 ※臨時的		維持修繕費	1,080,432	維持修繕費	163,025
計		7,106,349	90,600	7,196,949			備品購入費	434,052	備品購入費	0
損益	174,551	0	174,551	委託料	162,000	計(C)	163,025			
				計(C)	1,676,484	計(C)	163,025			
				支出(B+C-A)	7,573,157	支出(B+C-A)	8,327,740			
職員配置	常勤職員	1人		市の正職員	1人					
	臨時・非常勤職員	0人		市の臨時・非常勤職員	4人					
利用料金実績 (単位：円)	利用料金算定額	減免対象額	実収入額							
	3,110,297	1,669,397	1,440,900							
指定管理者 人件費率	人件費(賃金等) /指定管理者事業支出		54.4%		H30年度 指定管理者損益	174,551円		評価		
利用者一人 当たりの 指定管理料	指定管理料 /利用者数		219.0円		事業目的に適合しない支出等の有無		なし	3		
行革効果	〔指定管理による行革効果〕			〔行革効果額〕			2,268,042円		評価	
				〔行革効果額の積算根拠〕					3	
				H30	H29	比較				
	・20年度(直営)は専任の正職員を1名配置していたが、本制度の導入により専任職員をなくすことができ、職員定数削減及び人件費の抑制につながった。			直営支出額	8,164,715	8,164,715	0			
				市支出額	5,896,673	5,905,317	△8,644			
			効果額	2,268,042	2,259,398	8,644				

3 事業の実施状況

区分	目標（協定内容・指定管理者提案）	実施	追加事業、未実施事業及びその理由	評価
本市指定事業	施設の開館・使用時間に関する業務、使用許可に関する業務、施設の維持・管理に関する業務等、使用料の決定・徴収等に関する業務、仕様書に定める業務	○		3
自主事業	・一輪車講習会（3回予定） ・スポーツ（屋内ソフトテニス）講習会（1回予定） ・ノルディックウォーキング教室（20回予定）	○	未実施：スポーツ（屋内ソフトテニス）講習会（1回予定） ※未実施項目はあるものの積極的な事業展開を行っている。	

4 指定管理者業務の実施状況

区分	目標（協定内容・仕様等）	実施状況	目標未達成の理由等	判定	評価
① 施設の維持管理	施設全般の維持管理	建築物各部位の保守・点検	的確に修繕が行われ、維持管理が図られていた。	○	3
	機械・電気設備の保守点検	運転監視、定期的な保守・点検	専門業者による保守点検が行われていた。	○	
	清掃業務	日常清掃、定期清掃、特別清掃	専門業者への委託により適切に行われた。	○	
	水道光熱費・燃料費の使用	環境負荷の抑制による省資源・省エネルギー	省エネに努めていることを確認した。	○	
	損害保険の加入	協定書の保険に加入	—		
	敷地環境の整備	敷地内植栽の保護、育成、処分等の管理	報告書により適切に行われていることを確認した。	○	
② サービスの向上	利用者の公平性	使用許可及び減免の適切な執行、利用者の公平性の確保	適正・公平に執行していることを確認した。	○	3
	広報やHPなどPR活動の実施	定期的・効果的な広報宣伝	機関紙、チラシ、市広報等を活用して周知を図ったことを認めた。	○	
	利用申込み等の受付体制の確保	利用者の快適利用、円滑な施設運営	窓口等でのトラブルがなく、正確で確実な対応を確認した。	○	
	利用者からの苦情に対する対応	苦情等への適切な対応	苦情に対し迅速な対応が取られたことを認めた。	○	
	利用者増加策の実施	イベントの企画や自主事業の実施	積極的に事業を実施していた。	○	
	施設利用状況の定期報告	利用状況の定期報告	毎月の報告を確認した。	○	
③ 危機管理対策	個人情報の保護	個人情報の適切な保護	個人情報保護方針に基づき実施していることを確認した。	○	3
	消防設備の管理及び点検の実施	消防設備の定期点検の実施	法定点検の実施を確認した。	○	
	警備業務の実施（機械警備含む）	秩序・規律保持、犯罪防止、災害防止及び利用者の安全確保	報告書により実施を確認した。	○	
	事故発生時の対応体制の確保	速やかな措置と市など関係機関への通報	関係機関への連絡、対応が適切に行われていることを確認した。	○	
	災害緊急時連絡網・マニュアル整備	災害発生時の対応マニュアルの整備	非常時連絡網、災害時の対応を確認した。	○	
	避難（救助）訓練の実施	避難訓練の実施	避難訓練、普通救命講習の受講をしたことを確認した。	○	

5 利用者評価

利用者評価	利用者アンケート	実施の有無	有	3
		調査内容	投書箱の設置	
	調査結果	投書等なし		
	要望・苦情等	良好とする評価	特になし	
		苦情・改善要望等	特になし	

6 総合評価

総合評価	評価区分	評価	総合評価
	1 施設の利用状況	3	
2 経費等の状況 (指定管理者損益等)	3		
2 経費等の状況 (行革効果)	3		
3 事業の実施状況	3		
4 業務の実施状況	3		
①施設の維持管理	3		
②サービスの向上	3		
③危機管理対策	3		
5 利用者評価	3		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・本制度の導入によって、人件費や物件費が抑制され行革の効果を着実に上げており、大いに評価できる。 ・施設の特性を生かした自主事業の取り組みは、施設の設置目的でもある「健康、体力の増進（向上）」に貢献しており、今後の取り組みにも期待が持てる。 ・各講座のアンケートを行い、自主事業の更なる展開を目指すことを望む。 		

7 改善事項等

取り組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの改善事項	実施状況	次年度に向けての改善事項
	利用者アンケートの実施による利用者評価、ニーズの把握	実施したが投書がない状況	利用者のニーズ把握などを目的としたアンケートなど、内容や方法を検討